

労働安全衛生法関係試験手数料（筆記試験）の試算

<平成20年度の事業支出決算を元に算出した試験手数料>

※ 各種の仮定の上試算された金額であり、実際のそれぞれの支出経費とは異なります。

○ 免許試験手数料の試算結果（※現在一律7,000円）

免許試験の種類	実施回数 (のべ)	申請者数	1回あたりの 申請者数	一人あたり の負担額 ※1	試算結果 ※2
第一種衛生管理者免許	219	61,470	281	3,273	3,200
第二種衛生管理者免許	219	29,429	134	6,836	6,800
高圧室内作業主任者免許	6	64	11	86,118	86,100
ガス溶接作業主任者免許	18	973	54	16,993	16,900
林業架線作業主任者免許	16	194	12	75,760	75,700
特級ボイラー技士免許	7	732	105	8,784	8,700
一級ボイラー技士免許	92	9,949	108	8,494	8,400
二級ボイラー技士免許	207	35,344	171	5,380	5,300
エックス線作業主任者免許	45	7,659	170	5,397	5,300
ガンマ線透過写真撮影作業主任者免許	7	389	56	16,530	16,500
発破技師免許	21	358	17	53,884	53,800
揚貨装置運転士免許	15	637	42	21,631	21,600
特別ボイラー溶接士免許	11	144	13	70,170	70,100
普通ボイラー溶接士免許	18	908	50	18,210	18,200
ボイラー整備士免許	44	3,678	84	10,989	10,900
クレーン・デリック運転士免許	264	31,142	118	7,787	7,700
移動式クレーン運転士免許	78	5,661	73	12,657	12,600
潜水士免許	54	6,796	126	7,299	7,200
合 計	1,341	195,527			

※1 試験を1回実施するのにかかる費用を免許試験支出額をのべ試験実施回数で割って算出（1,232百万÷1,341回=918,588円）し、当該費用を1回あたりの申請者数で割り、一人あたりの負担額を算出した。

※2 一人あたりの負担額から下二ケタを切り捨てた数値。

○ コンサルタント試験手数料の試算結果

107,202円（現在24,700円）

※ コンサルタント試験支出額（166百万）を申請者数（1,554人）で割って算出した。

○ 作業環境測定士試験手数料の試算結果

第1種作業環境測定士試験

31,042円（現在13,900円+1科目ごとに3,300円加算）

第2種作業環境測定士試験

28,942円（現在11,800円）

※ 作業環境測定士試験支出額のうち、受験料収入で賄えない額を算出（88百万-受験料収入）し、不足分を申請者数（2,943人）で割って算出した額（不足分、17,142円）を現在の手数料に上乗せして算出した。

注1 申請者数は平成20年度実績による。

注2 支出額は資料3-2による。